

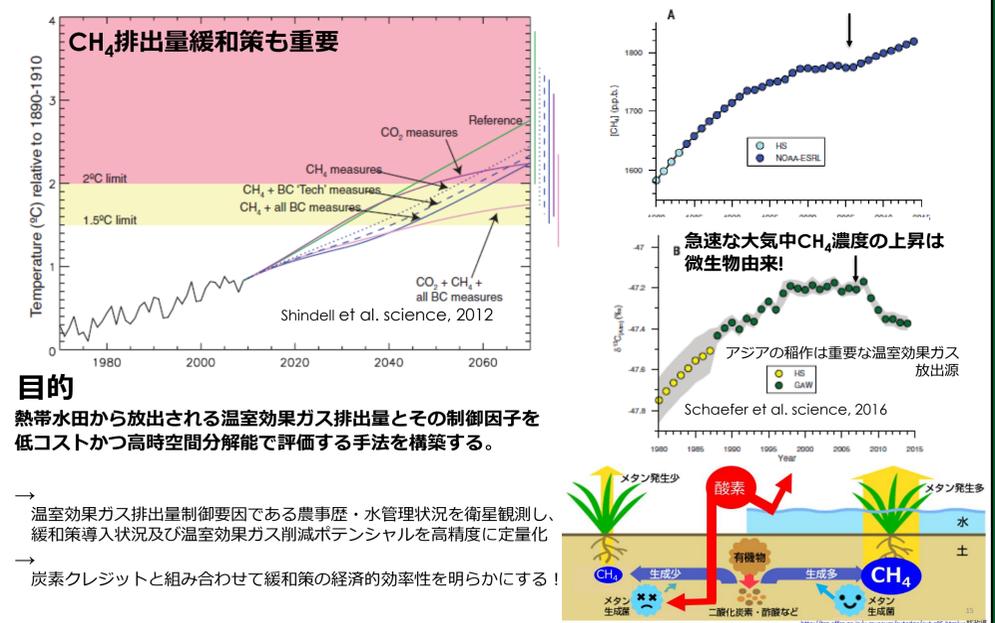
# 多種衛星データおよび地上フラックス観測データを融合した アジア水田の温室効果ガス排出量MRVシステムの構築

新井宏徳<sup>1,3)</sup>, 竹内渉<sup>1)</sup>, 大吉慶<sup>2)</sup>, Lam Dao NGUYEN<sup>4)</sup>, 橋永久<sup>5)</sup>,  
魚住隆太<sup>6)</sup>, 寺崎康児<sup>3)</sup>, 八代尚<sup>3)</sup>, 三好建正<sup>3)</sup>, 犬伏和之<sup>7)</sup>

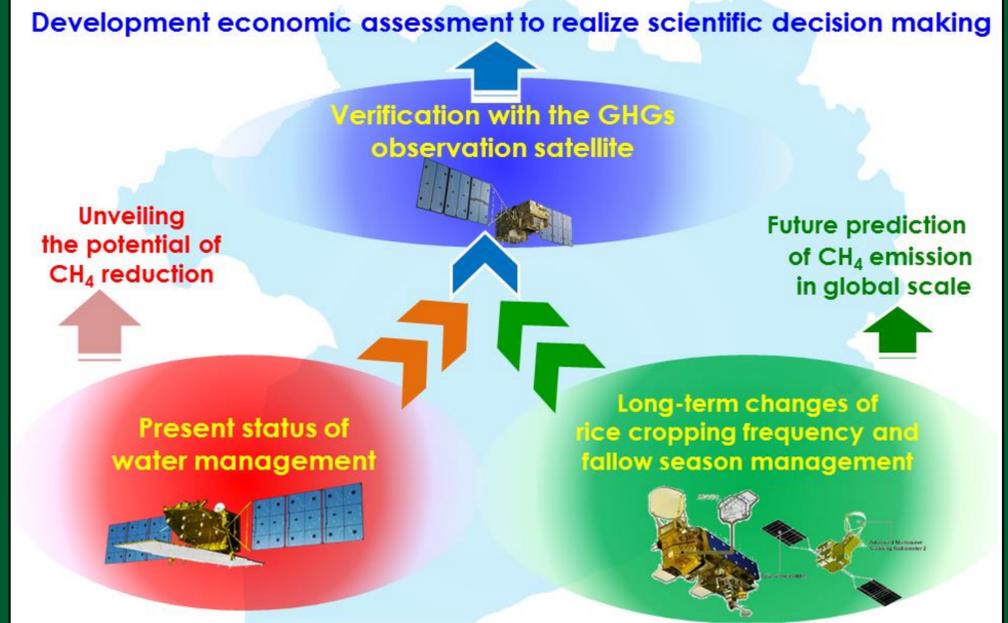
- 1) 東京大学生産技術研究所, 2) 宇宙航空研究開発機構EORC, 3) 理化学研究所計算科学研究機構,  
4) ベトナム科学技術院ホーチミン宇宙技術運用センター,  
5) 千葉大学法政経学部, 6) 魚住サステナビリティ研究所, 7) 千葉大学大学院園芸学研究科



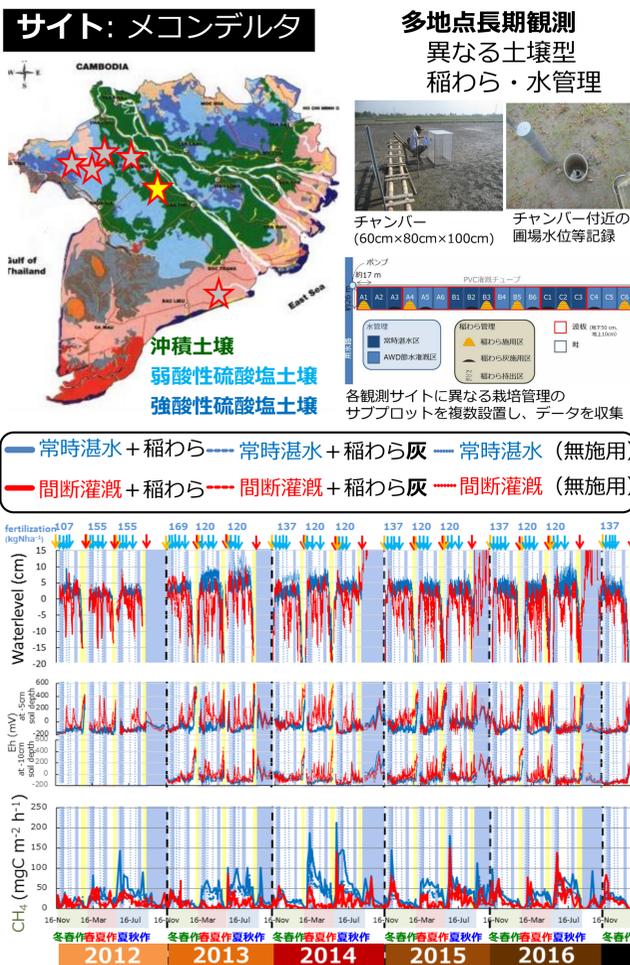
## 背景および目的



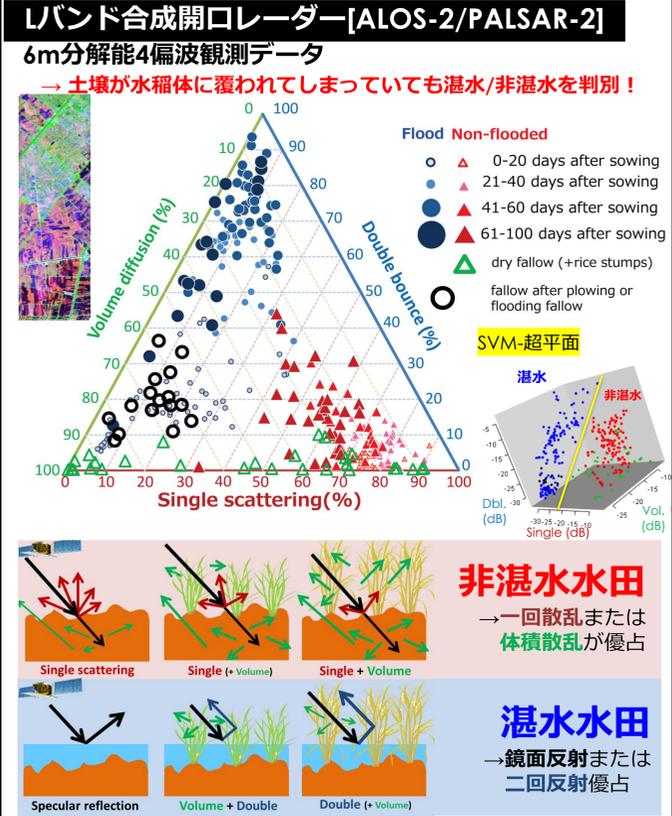
## 本研究での取り組み



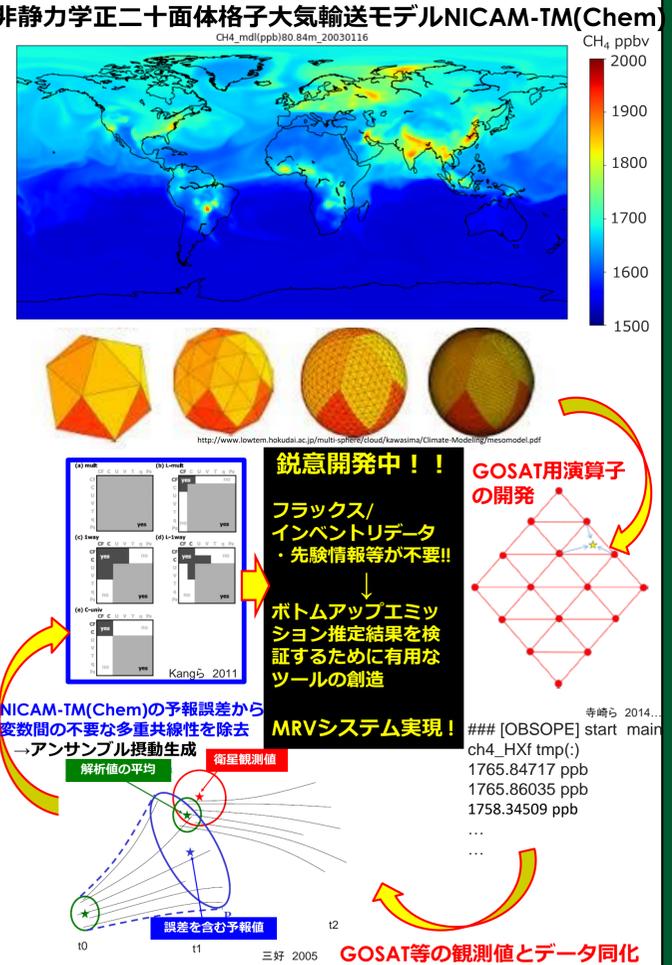
## 現地フラックスデータ解析



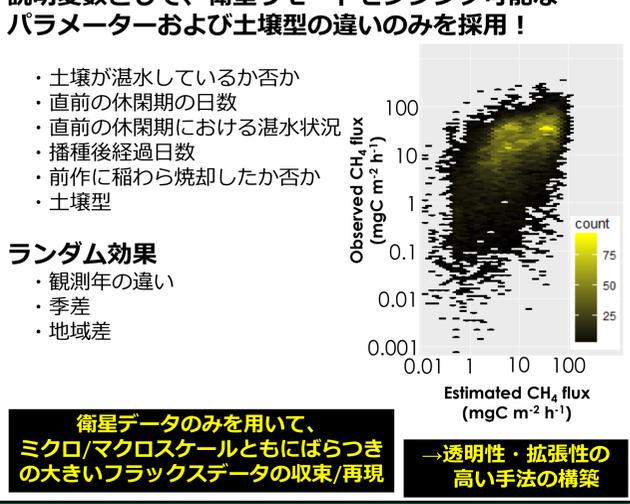
## 合成開口レーダーを用いたリモートセンシング - 植生に覆われた土壌の湛水検出・農事歴推定 -



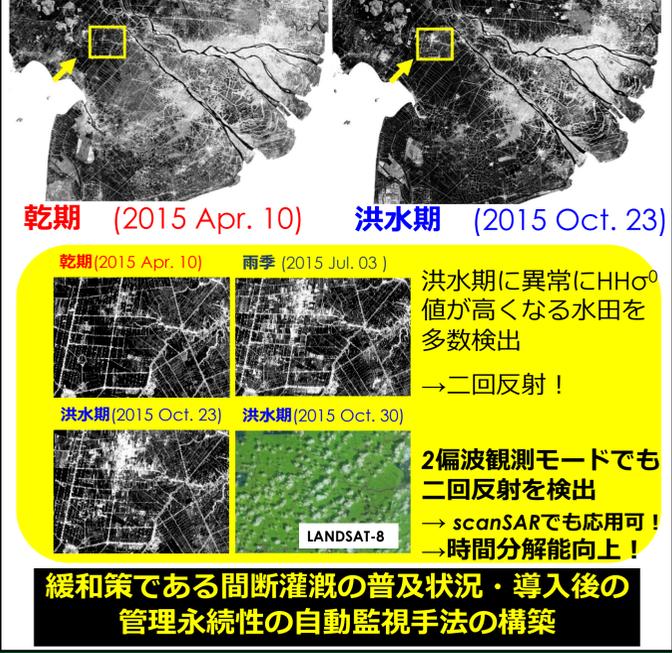
## 大気中CH4濃度の衛星データからの逆エミッション算出 - フラックス/先験情報を用いずに全球スケールで推定 -



## 階層ベイズモデル



## 広域観測scanSAR 2偏波データ(HHσ<sup>0</sup>)



## GOSAT等の観測値とデータ同化

